

CLTを活用したコンパクト・バイオマスタウン構想@南小国町

CAPTAIN TODO

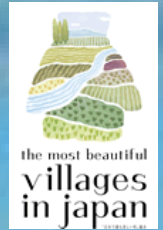
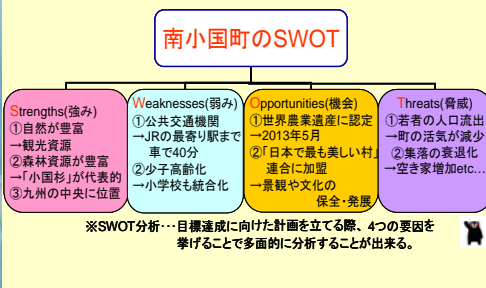
南小国町ってどんなところ？

<南小国町の現状と課題>

九州のほぼ中央に位置し、豊かな自然に恵まれ、近年では黒川温泉が有名になり県内外から多くの観光客が訪れています。しかし、良くも悪くも田舎であり、全国の中山間地と同様、少子高齢化・都市部への人口の流出が喫緊の課題となっています。



<南小国町のSWOT分析>



『CLT』と『地域暖房』を使ったまちづくりはどうだろう！

<CLTパネルってなに？>

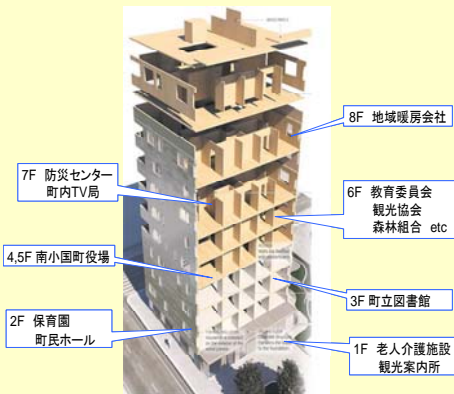
CLTパネルとは...Cross Laminated Timberの略称で、木材の繊維方向を直角に交互に貼り合わせることで一般の集成材よりも強度が高いです。



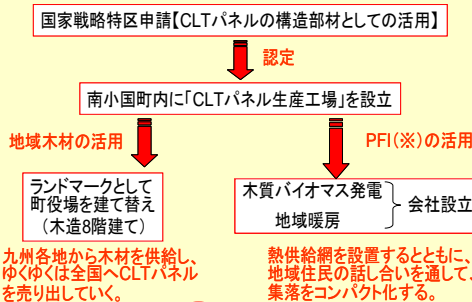
ヨーロッパや北米ではすでに導入されており、高層集合住宅や大型商業施設にも建設されています。→プレカットが可能で、施工時のミスを抑制することにも一役買っています。

<新南小国町役場イメージ図>

様々な施設を取り込んだ複合庁舎とし、町民の集まる場を創出。



～南小国町『幸せ実感三冠王』までの道のり～



日本初!! 『コンパクト・バイオマスタウン』実現

- ☆誰もが住みたい町No.1
- ・集落コミュニティの再生・向上
 - ・美しい景観、木造建築の町並み
 - ☆クリーンエネルギー自給増加率No.1
 - ・冷暖房の化石燃料使用量削減
 - ・環境に優しいまちづくり
 - ☆財政力増加率No.1
 - ・雇用、定住者の拡大
 - ・観光客の増加
 - ・インフラ設備の維持管理費低減
- 九州全体の木材産業活性化!! 日本でもCLTパネルの普及促進!!

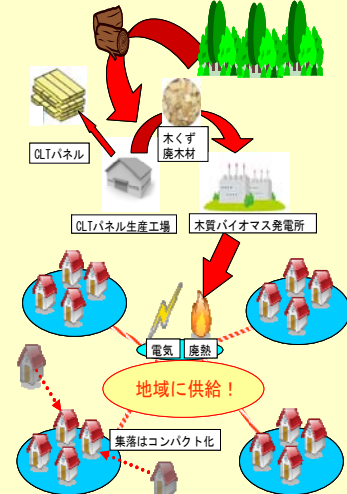
PFI手法...Private Finance Initiativeの略称。公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営力および技術的能力を活用する手法。

<地域暖房ってなに？>

地域暖房とは...熱源を設置し、熱供給網を通して熱を供給する暖房システムです。熱の媒体には熱湯や蒸気が使われます。寒さが厳しい北欧では広く普及しています。デンマークでは60%の家庭が地域暖房に接続されており、首都のコペンハーゲンでは80%にもなります。日本では北海道で、ゴミ処理場の廃熱を利用した地域暖房が提供されています。

<コンパクト・バイオマスタウンイメージ図>

CLTパネル工場の木くずを利用して発電し、その廃熱を地域暖房に活用する。



私は藻谷浩介著の『里山資本主義』(2013/角川書店)を読んで、本提案をさせて頂きました。CLTでも地域暖房でも壮大な話のようですが、どちらも世界で実際に導入されている技術です。どうでしょう、みなさんも南小国町がただの田舎ではなく、宝の山に見えませんか。お時間があれば、是非足を運ばれてみて下さい。

～最後までお読み頂きありがとうございました。～